



BE*BOY COMICS

恋とは呼べない③

love 3 I can't say it's love 3 I can't say it's love 3 I can't say it's love 3

町屋はとこ

原作 / 榎田尤利



恋とは
呼べない③
CONTENTS

あらすじ	4
第15話 MAGAZINE BE×BOY('11年11月号)掲載	6
第16話 MAGAZINE BE×BOY('12年3月号)掲載	45
第17話 MAGAZINE BE×BOY('12年5月号)掲載	77
最終話 MAGAZINE BE×BOY('12年7月号)掲載	112
恋になれたら MAGAZINE BE×BOY('12年9月号)掲載	167
しあわせなのにや 描き下ろし	207
Morning 描き下ろし	216
あとがき 描き下ろし	222
Spring has come 描き下ろし	224
やきのりにつき 描き下ろし	
金魚とやきのり	44

一緒にいて楽な相手。落ち着く相手。安心する相手。
けれどそれは恋ではない。

相手を思うと、胸が苦しくなる。この苦しみから解放されたいと思うのに、
ままならない。好きだ、という気持ちがなくならない。

考えたくないのに、考えてしまう。

無意識にいつも探してしまう。ここにいるはずもないのに、見間違えて
しまう。彼ではないとわかるたびに、落胆し、自分を唾つい、心の奥がきしむ。

それが恋愛だ。

恋愛履歴書

フリガナ 氏名	ツモリエイ 津森英	年齢 27歳	性別 男
------------	--------------	-----------	---------



「男」を見る目がない鈍感。

恋愛歴



- ・ゲイ、恋愛にのめりこむタイプだが、たいてい相手が女性を選び別れを切り出される。→クリスマスイヴに捨てられる。→淳平との出会い。
- ・元彼とよりを戻すが、騙されていた事を知る。→今度こそ「自分からの別れ」を決意。

恋愛履歴書

フリガナ 氏名	イカミ ジンパイ 名嘉真淳平	年齢 22歳	性別 男
------------	-------------------	-----------	---------



過去の恋に縛られる。

恋愛歴



- ・最愛の女性が余命を宣告される。→しかし彼女には他に好きな人がいて、突然別れを告げられる。許しを請う彼女に「許す」と言えないまま、彼女は亡くなってしま...



- ・いつも見守ってくれる淳平との距離は縮まるが、恋の自覚はなし。



- ・橋高が英に近づいてきたことで、自分の本当の想いに気づく。

・「もう本気の恋はしない」と決意。

- ・来る者拒まず、去るもの追わずなダメ男に。→ヤクザの女に手を出し、ボコボコにされる。→やきのり、そして英との出会い
- リンデンバウムで働くようになって逆ナンバされ放題。修羅場に。



- ・英と暮らしていく中で、英の心の強さと優しさに惹かれる。

- ・英と橋高が付き合っている誤解し家を出てしまう。



登場人物紹介



YAKINORI

橘高義美



38歳。実業家。
恋愛を楽しむ自由人だったが、
学生時代に関係があったサ
ガンと再会し変化していく。
英に対して癒しを感じている。

MASAHIKO SAGAN

目 雅彦



36歳。心理学専門の大学准教
授。元妻の死への罪悪感から
自分を責め続け、橘高のアプ
ローチを拒絶している。淳平
に同族意識を感じている。



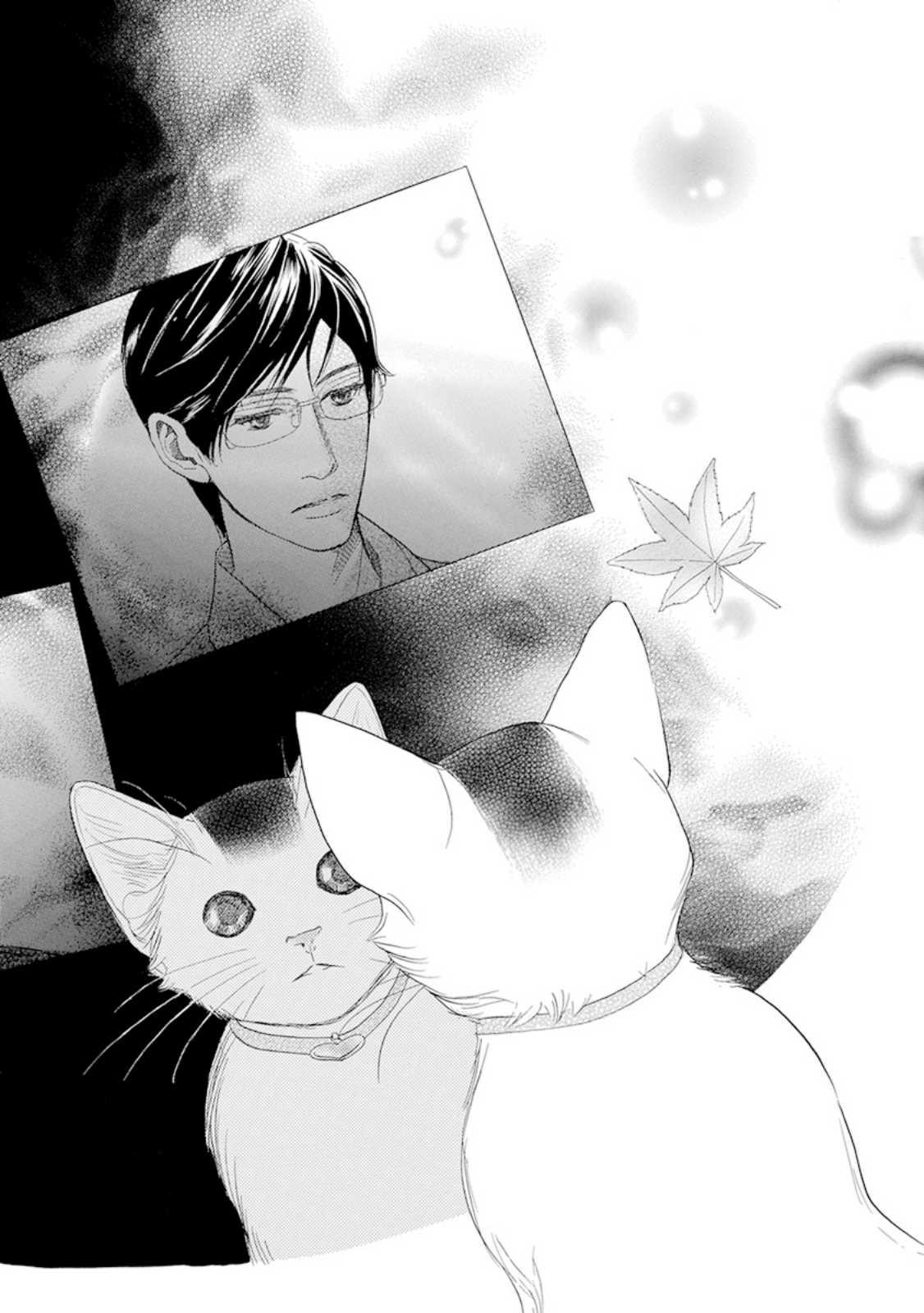
これまでのお話

恋人に捨てられた最低なクリスマススマスイウの夜の、
英は、仔猫と青年・淳平を拾う。対照的な二人と愛猫・
やきのりも加えた不思議な同居生活は穏やかで、幸
せな日常を送っていた。

淳平の手助けを得て、過去の酷い恋人と別れるこ
とができた英。二人の距離は次第に縮まり始める。
しかし、淳平は過去、恋人の死際に「他に好きな人
がいる」と裏切られた経験があり、「二度と誰も好き
にならない」と決意していた……。

それでも、かたくなだった淳平は、英の優しさに触
れて恋心を自覚し、英も同様に「心の中に住む別の人」
である淳平を、橘高に指摘される。
そんな時、勘違いから「英の恋人は
橘高だ」と思い込んでしまった淳
平。英から離れるため、「自分
もサガンという恋人ができた」と嘘
をつき、英との同居を解消してしまう
のだった……。



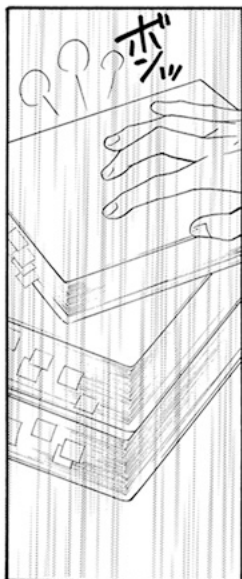




I can't say
it's love.

恋心は 叫べない

第15話



香取、
来週の会議の
レジュメ見せて



あと
予算管理の
ファイルも転送
してくれないか

チェックする
から

あ
はい

……
主任、

どうかした
んですか？

なにが？

なんか……

すごく
張り切ってる
というか……







おかえり

なー

おかえりな





さみしく

なんか……

さみしくなんか……

さみしくなんか……

じゅんぺいでい
淳平が出て行った

あのふたりが
そういう関係
だったなんて

全然
気がつかなかった

サガンさんのところへ
行ったのだ



でもいい
それはいいんだ



サガンさんも
美味しいご飯を
食べられるように
なつたわけだし

だから、
それはいいんだ



淳平は嬉しそう
だつたし

いいんだ



さみしくなんか……



なのに

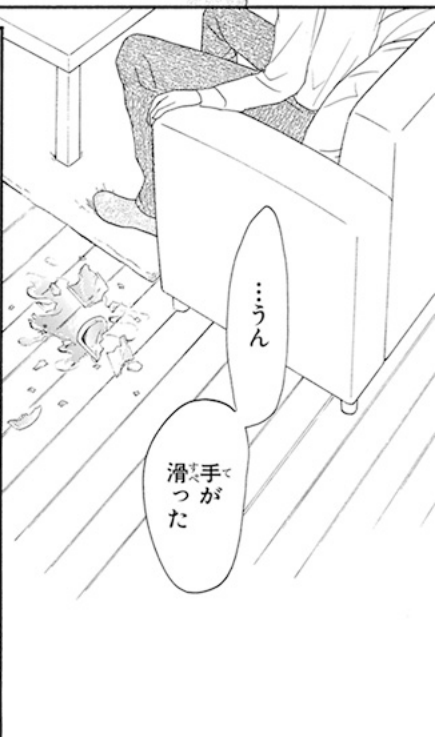
じゅじゅ……





どうかしましたか？

サガンさん？



うん…

大丈夫
ですか？

…うん

手が
滑った

嘘だうそ

それはただの
かぜ薬

眠ねむれてるよ

眠ねむれないなら
心療内科とかで
ちやんと処方して
もらったほうが

……そうだね

だめですよ、
酒さけで薬くすり飲のんだり
しちや

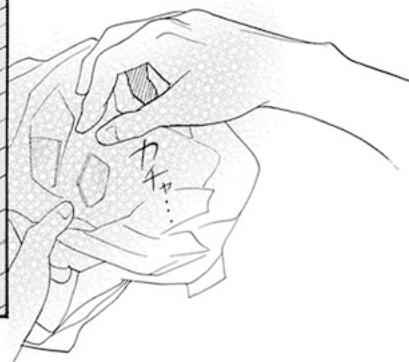


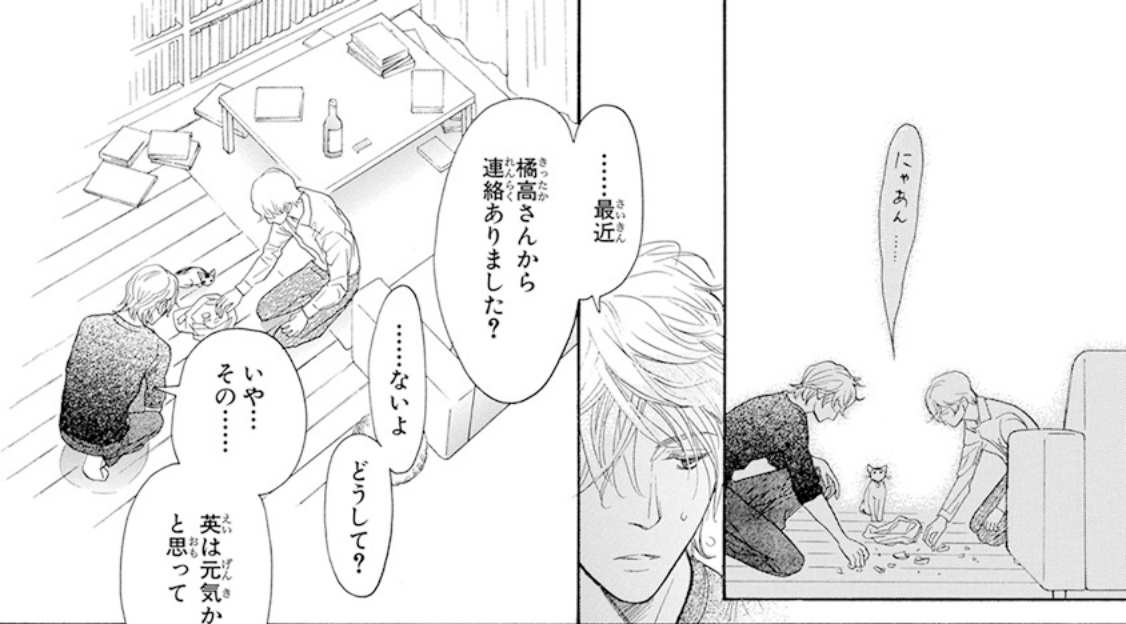
俺おれが来てからもう
四日よっぴだけど……

サガンさんは
眠ねむれていない

夜中よなかに何度なんども
起きたり

ときどき
うなされたり……





にゃあん……

……最近

橘高さんから
連絡ありましたか？

……ないよ

どうして？

いや……
その……

英は元気かな
と思っ

元気なんじゃ
ないかな

橘高は……
ああ見えて
決まった相手
ができるよ
一途だよ

そうですか……

ちよ……

サガンさん！



